

北陸地方整備局
阿賀野川河川事務所
記者発表資料

発表日
平成 27年1月20日

阿賀野川河川事務所 平成27年度補正予算による事業について

□事業の目的

平成27年9月関東・東北豪雨を受け、策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」の取り組みの一環として、補正予算により「洪水を安全に流すためのハード対策」と「危機管理型ハード対策」等を行い地域の安全・安心の向上を図ります。

□事業の概要

平成27年9月関東・東北豪雨では、阿賀野川水系阿賀野川でも観測史上7番目洪水流量を記録し、阿賀野川左岸の新潟市小杉地区では、堤防付近の侵食、洗掘が進行しているため、「水防災意識社会 再構築ビジョン」の取り組みにおける「洪水を安全に流すためのハード対策」として、堤防の強化を行います。また、「危機管理型ハード対策」として、阿賀野市小松地区他で堤防構造を工夫する対策を行います。この他にソフト対策の充実として、危険個所の監視体制の強化等を図ります。

□主要事業の内容

- 「洪水を安全に流すためのハード対策」 新潟市江南区小杉地区 参考資料－1
- 「危機管理型ハード対策」 阿賀野市小松地区他 参考資料－2

※「水防災意識社会 再構築ビジョン」

- ▶ 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申されました。
- ▶ 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、全ての直轄河川とその沿川市町村（109水系、730市町村）において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取り組みを行うこととなりました。
- ▶ 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

投げ込み先

新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ

【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局 阿賀野川河川事務所
副所長(技術) 南雲 克彦
調査課長 浅見 和人
〒956-0032 新潟市秋葉区南町 14-28
電話 0250-22-2211(代)
事務所 HP <http://www.hrr.mlit.go.jp/agano/>
事務所 twitter https://twitter.com/mlit_aganogawa



あがのがわ
阿賀野川 堤防侵食対策の推進
にいがた にいがた こすぎ
新潟県新潟市（小杉地区）

事業の概要

阿賀野川左岸の新潟市江南区小杉地区では、平成27年9月洪水等により、堤防付近の侵食、洗掘が進行しており、堤防が決壊した場合、氾濫による影響が新潟市街地を含む一帯に及び、甚大な被害が発生する危険性があります。

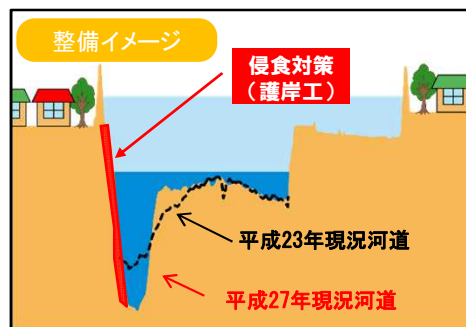
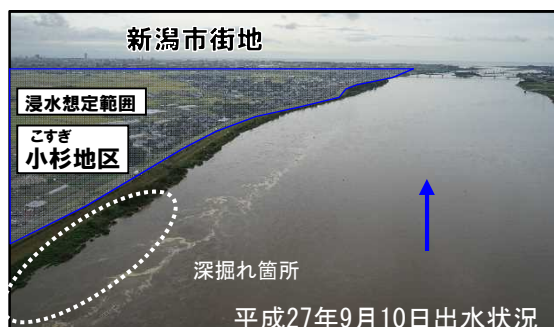
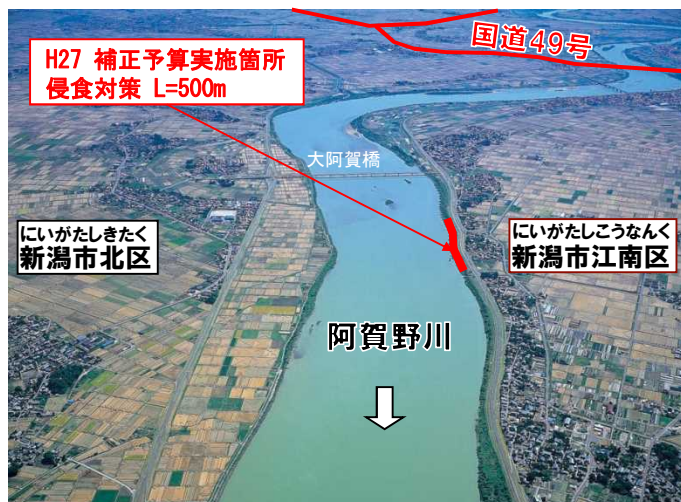
平成27年9月関東・東北豪雨を受け、策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」※の取組における「洪水を安全に流すためのハード対策」の一環として、堤防の侵食対策を行うものです。

整備効果

堤防の侵食対策の実施により、堤防の強化が図られ、一連区間での洪水に対する安全性が向上します。

平成27年度補正予算の事業内容

小杉地区において、堤防の侵食対策として護岸の整備（L=500m）を推進します。



※「水防災意識社会 再構築ビジョン」

- 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申されました。
- 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、全ての直轄河川とその沿川市町村（109水系、730市町村）において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取り組みを行うこととなりました。
- 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

あがのがわ
阿賀野川

堤防決壊までの時間を少しでも引き延ばす対策の推進

事業の概要

平成27年9月関東・東北豪雨では、鬼怒川で堤防が決壊し甚大な被害が発生しました。これを受け、策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」※の取組における「危機管理型ハード対策」の一環として、越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう、堤防構造を工夫する対策として、堤防天端^{てんぱ}の保護を実施します。

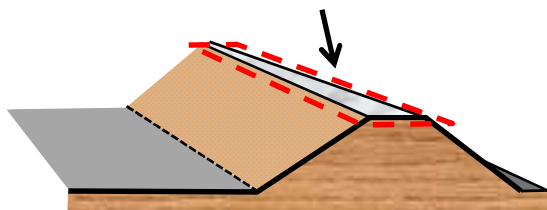
整備効果

堤防天端の保護により、堤防決壊までの時間を少しでも遅らせることが可能となります。

平成27年度補正予算の事業内容

堤防天端舗装を阿賀野川の小松地区他で推進します。

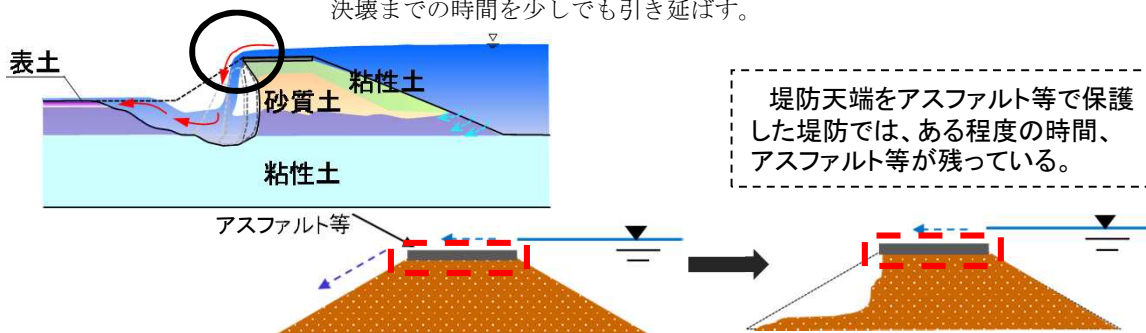
整備イメージ
堤防天端をアスファルト等で保護



「危機管理型ハード対策」の効果 イメージ

堤防天端の保護

堤防天端をアスファルト等で保護し、堤防への雨水の浸透を抑制するとともに、越水した場合には法肩部の崩壊の進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも引き延ばす。



※「水防災意識社会 再構築ビジョン」

- 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申されました。
- 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、全ての直轄河川とその沿川市町村（109水系、730市町村）において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取り組みを行うこととなりました。
- 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html